

舟入高校第1学年 進路だよりNo. 3

自律の力をつけ、自立学習をめざそう！



5月になりました。学校は、皆さんがいた頃には花が咲いていた桜の木は、葉桜へと姿を変え、今はつつじの花が満開です。

さて、休校の延長に伴い、ますます皆さんの力が試されることになりました。社会は、コロナウィルス感染拡大か収束かの重大な分岐点ですが、この期間は皆さんにとっては、高校生としての学習スタイルが確立できるかできないかの重大な分岐点です！！これだけの長期間を自分の意思だけで生活するという事は誰も初めての経験でしょう。しかし、その期間が長いだけに、自律した生活を送り、時間を十分に生かして大きな成果を得るのか、自律できずに大きな後遺症を残してしまうのかは、1年後、2年後の生活までも変えてしまう、まさに「重大な

局面」なのです。

スタディサポートの際に確認した「中学校生活の振り返り」では、10点満点中10点と答えた人は24人。これは全国平均の約2倍です。9点が61人、8点が91人、7点が68人です。また、「昨年一番頑張ったと思うこと」は、「部活動」が122人、「勉強」が99人、「学校行事」が37人でした。中学校生活の締めくくりの時期は休校となり残念でしたが、それまでは充実した中学校生活を送っていたことがうかがえます。

一方、「高校生活についての現在の気持ち」では、「授業の進度についていけるか心配」と答えていた人が例年以上に多く136人でした。幸か不幸か、授業が始まらずこの心配は今のところ無用となりましたが、「心配」の背景には「それまでの自分の学習習慣や、中学校までの学習の定着度への不安」があったのではないのでしょうか。実際、「学習や生活のリズムがうまく保てるか不安」と答えた人も60人いました。

今の状況はどうですか？**学校の時間割**に合わせた学習ができていますか？**各教科の課題**は順調に取り組みましたか？これらをきちんとこなすことが、高校生活の学習や生活のリズムとなります。だらけている人は基本に立ち返ってください。それが**自律**です。また、既に課題を終えている人は、課題の内容を広げたり深めたりする工夫をしてみましょう。それが**自立**です。

コロナウィルスの感染状況は、今の私たちの生活の成果が約2週間後に現れてきますが、**現在の学習習慣の成果は、時間の経過とともに差を拡大させながら、今後随所に現れてきます。**

「将来の自分」の人生も考えながら、今一度、「今の自分」を律して生活を立て直し、必ず来る「進路決定」への備えをしていきましょう！！

自宅で過ごしている今、進路を研究しよう！

前回、「文理選択」と「学問分野」について触れました。

4月27日（月）中国新聞の教育欄に「学部・学科の決

め方」についてのコラムが掲載されていました。河合塾
福山校 校舎長 後迫 充司さんのお話です。



新型コロナウイルスの影響で学校が休みになり、受験
勉強に不安を抱えている人もいるでしょう。でも、今で
きることをしっかり進めておくことが大切です。自宅に
いる時間を生かし、大学の学部・学科について研究しま
しょう。

**何のために、どこで何を学びたいのか。大学受験は、
目的をはっきりさせることから始まります。**

目的は大学に入ることではないでしょう。河合塾生へ
のアンケートでも、進学理由は「希望する業種・職業に
進みたい」が断トツ。将来の夢をかなえるためのワンス
テップにすぎないのです。そう考えると、進路は今の学
力や漠然としたイメージだけで決められるものではない
と分かりますね。

まだ将来像が描けないのなら、**まずは自分の興味のある
科目・分野を見つけ、関連する職業や学問を探って。**

好奇心を働かせ、できるだけ情報を集めましょう。どんな学部があるのかを調べるのも、結構大変なんですよ。近年は学部の新設や再編が活発です。1990年度には約100種類だった**学部の数は2018年度、約350種類にまで増加。細分化しています。**

新設学部注目すると、医療、国際関係、情報、スポーツに関連したものが目立ちます。高齢化や情報化、グローバル化といった社会の変化に応じた人材を育てようとの狙いがうかがえます。

ここで注意を一つ。**どんな学部かを名称だけで判断してはいけません。**

新設学部の名称は「コミュニケーション」「マネジメント」「グローバル」といったカタカナ語が多く、学問内容をとらえにくいことがあります。また、例えば学部名に「情報」と付いても、コンピュータを使った情報処理やネットワークを学ぶ学部もあれば、情報と人間や社会との関りを研究する学部もあるのです。



興味を引かれる学部を見つけたら、その中身もしっかり探って。大学のホームページのほか、予備校や出版社が発行している案内冊子などを活用するといいですよ。イメージだけで選ぶと、入学後、そのギャップに悩むことになりかねません。**学びたいことと合致しているか、自分がその学問に適性があるかを確認しましょう。**

志望学部が固まったら、次は大学研究へと歩みを進められます。さあ、頑張りましょう。



スタディサポートの際に確認した皆さんの進路希望では、分野が未定と答えた人は 20 名で、大半の人は何らかの分野を選択していました。しかし、後迫 充司さんのお話にもあるように、同じ学部の名前でも内容は細分化していますので、自分の志望を突き詰めていくことは必要です。そして何より重要なのは、「**何のために、どこで何を学びたいのか。**」の「**何のために**」の部分です。ここが明確でないために受験期になって意志がぐらつく人によく出会います。そしてそういう人は良い受験経験と

はなっていないません。

「**何のために**」の部分は、例えば「医者になるために」なんていうのは全く不十分です。「どんな医者になって、どんな人を助けなくてはならないのか、どんな人の命を救い守らなければならないのか」「なぜ自分はそう思うのか」「その人たちを助けるためにどんな困難が考えられるか」「その困難はどうすれば乗り越えられると思うのか」「そのために自分は今何をしておくべきか」…そこまで考えて初めて「医者になるために」と答える土台ができるのです。

家で過ごす時間が長い分、自分と向き合える時間も十分あるはずです。逆に、学校生活が始まると、じっくりとものを考える時間は奪われがちです。

今こそ、自分の進路についてじっくり考え、調べ、自分自身の「何のために」を確立させましょう！！